

スモールパワー船外機 取扱説明書

SP-1 Small Power One



SP-1XS



SP-1S



SP-1L

ジェイモ 株式会社

〒584-0086 大阪府富田林市津々山台4丁目12番26号
TEL 0721-28-8088(代) FAX 0721-28-8039

スモールパワー船外機 取扱説明書

この度はジェイモ「SP-1(Small Power One)」をお買い上げ頂き誠に有難うございます。

このミニ船外機は全長 3 m 未満のスモールボート専用開発された、軽量コンパクト・簡単操作の「日本製・空冷 2 ストローク 1 馬力 (0.75kw) 船外機」です。

このミニ船外機は一日中連続運転をするような業務用としての過酷な条件での使用はできません。

航行範囲に関しても安全に帰航できるよう陸から 2 0 0 m 以内とします。

また、取り扱いを誤ると重大な事故や故障等の原因となる為「注意・禁止事項」を必ず守り、安全運行に努めなければなりません。

「一般的な注意・禁止事項」

- 試運転時以外は陸上でエンジンを始動してはいけません。また、陸上で試運転をする時は必ず船外機スタンドにセットし周囲に人が居ないことを確認してから行なうこと。
- 始動前にスロットルなどの可動部分がスムーズに動かし、またクランプスクリューやプロペラナットなど、ネジ・ナット類の緩みがないかを必ず確認すること。
- 始動後、スロットル・停止スイッチ・ハンドルなどが正常に作動するか必ず確認し異常がある場合は使用を止めること。
- 船外機の取り付け・取り外しは必ずエンジンを停止しておこなうこと。
- 燃料は混合比 25 (ガソリン) : 1 (2 サイクル専用オイル) の混合ガソリンを使用すること。
(ガソリン 1 L : 2 サイクル専用オイル 40 c c) 混合比を間違えると焼付や故障の原因となります。
- 燃料補給時は必ずエンジンを停止しエンジンが冷えていることを確認し、周りに火気のない通気の良い所で行なうこと。
燃料が漏れた場合は十分に拭き取る。
- 連続運行時間は1回30分以内とし次の使用まで5~10分時間をあけること。
- クランプスクリューは左右均一手締めとし、道具を使って無理に締め付けないこと。
- 使用前後の点検及び定期点検は必ず行なうこと。
- 乗船時は必ずライフジャケットを着用すること。
- 改造はしてはいけません。
- 飲酒運転は絶対にしてはいけません。

「出航前の注意・禁止事項」

- クランプスクリューが緩みなく固定されているか確認すること。
- 燃料タンクの燃料及び予備の燃料は十分にあるか確認すること。
- 船体の前後左右のバランスは適正か、動きやすい荷物が固定されているか確認すること。
- 必ず暖機運転を 2 ~ 3 分行なうこと。同時に各部が正常に作動するか確認すること。
- パドルまたはオールは必ず積んでおくこと。
- 調整や万一のトラブルに必要な工具類や安全備品は積んでおくこと。
- 付近に遊泳者が居ないか確認すること。
- 出航前には必ず天気予報を確認すること。また、航行中に悪天候に変わりそうな場合は速やかに帰航すること。

「出航後の注意・禁止事項」

- 使用中にクランプスクリューが緩んでいないか時折確認すること。
- 陸から 2 0 0 m 以内の範囲で使用し、それ以上遠くへ離れてはいけません。
- 急加速・急減速・急旋回はエンジンに負担をかけ故障の原因となるだけでなく、船のバランスを失い転覆などの原因となるためしてはいけません。
- 遊泳者には十分注意すること。付近に遊泳者が居る場合は必ずエンジンを停止すること。
- 海にも交通法規・地域規定があります。運行時は法規・規定を守り安全な運転をすること。

「後進時の注意・禁止事項」

- 本体を 180 度反転させることにより後進が可能です。回転を上げ過ぎると構造上プロペラ部が跳ね上がり危険なので操作は慎重かつ丁寧に微速 (低回転) にて行なうこと。
- 操作時は不安定な姿勢になるので落水や怪我をしないよう十分に注意すること。

「使用後の注意・禁止事項」

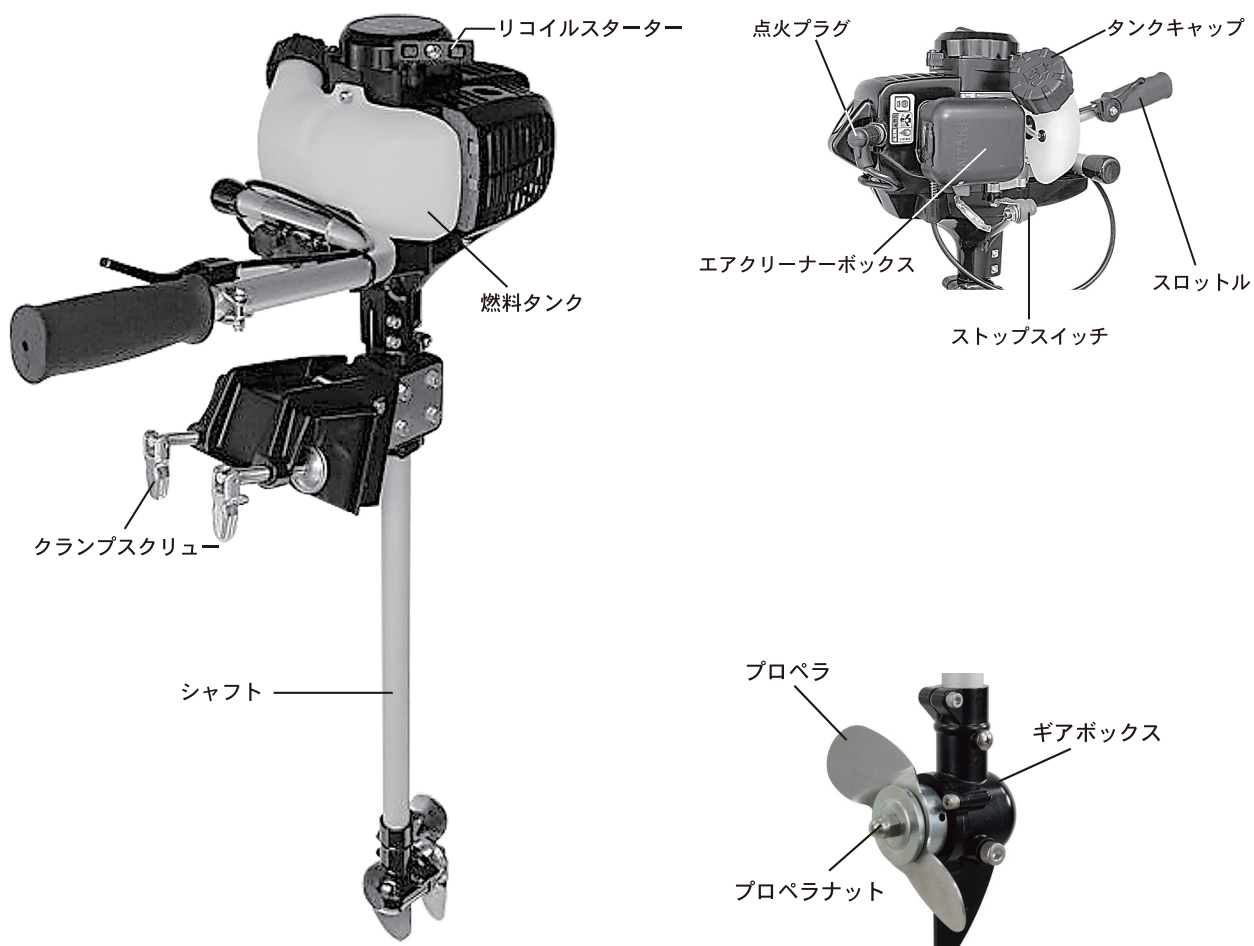
- 使用後はエンジンヘッド部以外を真水で洗浄し、金属部 (エンジンヘッド部含む) ・作動部分に防錆スプレー (KURE CRC 6-6 6 等) を吹き付け保管すること。
- プロペラなどに損傷がないかを確認し、損傷がある場合は修理または交換すること。
- 長期間 (3 週間以上) 使用しない場合は燃料を抜き取ってから自然に停止するまで空運転し気化器の中の燃料を完全にしておくこと。
- 点火プラグを外し、プラグの穴から少量の 2 サイクル専用オイルをシリンダーに流し込み、リコイルスターターを数回引きオイルを全体に行き渡らせた後、点火プラグを取り付けて保管すること。

● 仕 様

エンジン主要諸元			
モデル	SP-1		
トランサム	XS	S	L
エンジン名称	SP-2100		
形 式	空冷2サイクル立型ピストンバルブ式ガソリンエンジン		
シリンダー数－内径×行程	1－31mm×28mm		
総排気量	21.1ml		
最大出力	0.75kW／9000min ⁻¹		
最大トルク	0.92N・m／6500min ⁻¹		
アイドリング回転数	3000min ⁻¹		
回転方向	右回転（起動側より見て）		
使用燃料	潤滑油混合ガソリン［ガソリン：2サイクル専用オイル（25:1）］		
燃料タンク容量	430ml		
燃料消費率	588g／kW-h		
キャブレター	Walbro製 WYL型		
点火方式	マグネット点火（TCI）		
スパークプラグ	NGK製 BPM6A		
始動方式	リコイル式		
駆動装置	自動遠心クラッチ		
エアクリーナー方式	乾 式		
乾燥重量	約5.0kg	約5.2kg	約5.3kg
使用時：全長×全幅×全高(mm)	440×280×760	440×280×860	440×280×960
収納時：全長×全幅×全高(mm)	240×280×760	240×280×860	240×280×960
標準適合トランサム高	約280mm	約280～380mm	約380～480mm

仕様は、品質・性能向上のため予告なく変更する場合があります。

● 各部名称



運転方法

1. 燃料の準備

- (1) 燃料は潤滑油混合ガソリン 2 5 : 1 (ガソリン : 2 サイクル専用オイル) を使用すること。(ガソリン 1 0 : 2 サイクル専用オイル 4 0 cc)
 - (2) 別容器でよく混ぜてから燃料タンクに入れること。
- ※ 絶対にガソリンだけで運転してはいけません。エンジンが焼き付きます。

2. 始動方法

▲ 注意 ・エンジンの始動と同時にプロペラが回転する場合があるので注意すること。

- (1) 気化器横のプライミングポンプを数回押す。
(リターンパイプに燃料が流れてきたら押すのを止める) ……………【写真 1】
- (2) スロットルレバーをアイドル位置にする。…【写真 2】
- (3) スタートコントロールレバー(赤色)を始動位置にする。(カチッと引っ掛かるまで) ……………【写真 3】
- (4) リコイルスターターを数回引きエンジンを開始させる。……………【写真 4】

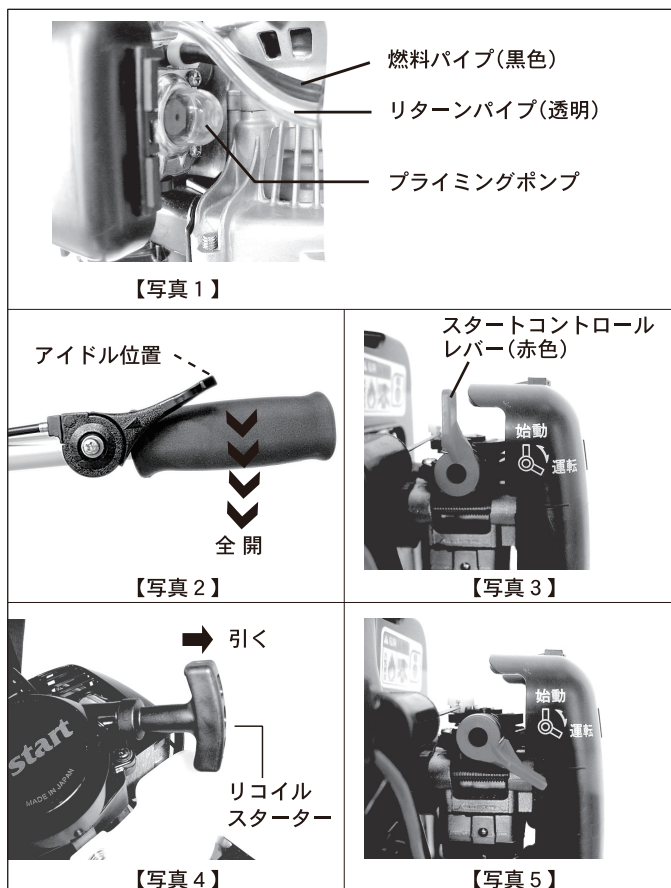
▲ 注意 ・リコイルスターターはゆっくりと戻すこと

- (5) 始動したらスロットルレバーを少し開いてからすぐにアイドル位置へ戻す。これでスタートコントロールレバーが始動位置から運転位置へ自動的に戻ります。……………【写真 5】

- (6) (5) の操作ですぐに停止する場合は、(2) からの操作を繰り返して下さい。

- (7) 始動後、低速回転で 2 ～ 3 分間暖機運転を行なうこと。
(スロットルレバーのアイドル位置が低速回転)

※ 再始動時にエンジンが暖まっている時はスタートコントロールレバーの操作は不要です。

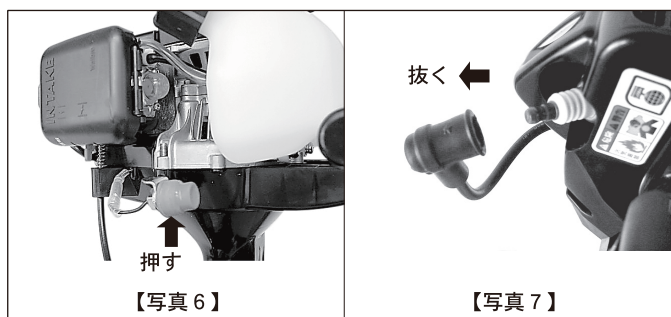


3. 停止方法

- (1) エンジンを停止する時はスロットルレバーをアイドル位置に戻し、エンジンが止まるまでストップスイッチを押し続ける。……………【写真 6】

※ 万一、ストップスイッチを押してもエンジンが停止しない場合

1. スタートコントロールレバー(赤色)を始動位置にする。……………【写真 3】
2. 1. の方法でも停止しない場合はプラグキャップを外す。(緊急時のみ) ……………【写真 7】



▲ 注意 ・エンジンが熱くなっているため火傷に注意すること。
・高電圧のため濡れた手でプラグに触れると感電するので注意すること。

保守・点検・整備

⚠ 危険

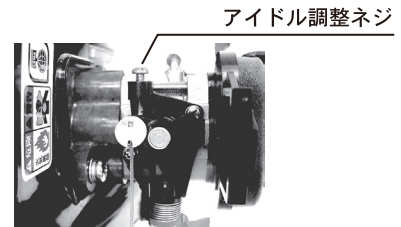
- ・エンジン単体またはクラッチケースを外しての運転は絶対にしてはいけない。
クラッチシューが外れ非常に危険です。

⚠ 注意

- ・スターターを分解してはいけない。

1. 気化器

- (1) 気化器の調整は工場出荷時に済んでいるので、なるべく触らないようにすること。
- (2) アイドリング回転が、高すぎる時（プロペラが回っている状態）または低すぎる時（エンジンが停止する時）は、アイドル調整ネジで調整する。
 - ・時計回し…アイドル回転が高くなる。
 - ・反時計回し…アイドル回転が低くなる。



2. 点火火花の点検

- (1) 点火プラグを取付けネジ穴から外し、取付ネジ部以外の金属部に接触させます。

⚠ 警告

- ・シリンダー内の残留ガスに引火する場合があるので、点火プラグの取付けネジ部には接触させないこと。

- (2) リコイルスターターのハンドルを引く。

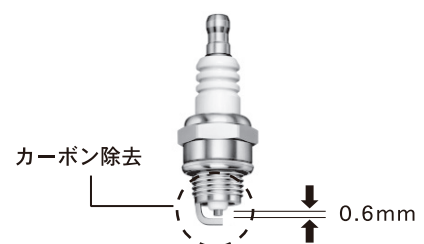
⚠ 警告

- ・リコイルスターターのハンドルを引く時に点火プラグの金属部に触れると高電圧のため感電するので注意すること。
- ・接触部付近および周りのガソリンをよく拭き取り引火の恐れが無いことを確認してから行なうこと。

- (3) 正常な場合は点火火花が出る。

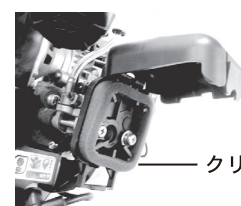
3. 点火プラグ

- (1) 点火プラグは指定のもの（NGK BPM6A）を使用すること。
- (2) 点火プラグの電極が茶褐色になっていれば最良の運転状態です。
電極部の隙間は0.6mmです。
- (3) カーボン等で汚損した場合は洗浄し完全に乾かしてから使用すること。
汚損がひどい場合は新しい点火プラグに交換すること。
点火プラグを取付ける時は、手で締込み最後にソケットレンチで締付けること。
（ネジ山を潰さないよう、締込み過ぎないこと。）



4. エアクリーナー

- (1) クリーナースポンジの汚れや目づまりは出力低下や始動困難になる原因となるため、定期的に掃除し汚れや目づまりを防ぐようにすること。
（汚れがひどい場合やスポンジが破けている場合は新しいものに交換する。）
- (2) クリーナースポンジの洗浄はガソリンや洗浄液などを使用し、洗浄後はかたく絞り完全に乾燥させてから取付けること。



⚠ 危険

- ・エンジン単体またはクラッチケースを外しての運転は絶対にしてはいけない。
クラッチシューが外れ非常に危険です。

⚠ 注意

- ・スターターを分解してはいけない。

5. 燃料フィルター

- (1) 燃料フィルターが詰まるとガソリンが上がらずエンジンの回転不調の原因となるため、定期的に点検すること。
- (2) 汚れている時は針金等で燃料給油口から引き出してガソリンでよく洗うこと。
(汚れがひどい時は新しいものと交換する。)



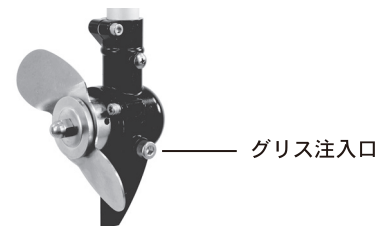
6. マフラー

- (1) 長時間運転するとテールパイプの内部にカーボンが付着し出力低下の原因となるため、付属のコンビボックススパナ等でテールパイプのカーボンを除去すること。



7. ギヤケース

- (1) 2.5時間使用毎または6ヶ月毎にグリスを補充すること。
- (2) ギヤケースヘッド部の側面にあるネジを外し、そのネジ穴からグリスを注入する。
(注) ギヤケース内に砂やゴミなど異物が入ると故障の原因となるため、作業前に必ずギヤケースの汚れを取り除くこと。



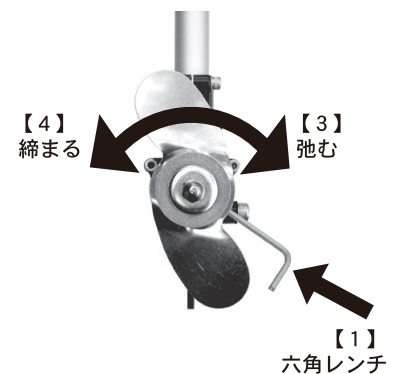
8. プロペラ

⚠ 注意

- ・作業時は必ず手袋をし怪我のないように気をつけること。

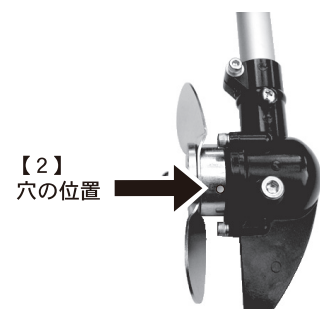
◆ 外し方

- (1) スペーサーの穴とギアボックスの穴を合わせて付属の六角レンチを差し込む。…【1】
(プロペラナット側から見て12時(又は4時)の位置)……………【2】
- (2) 六角レンチが抜けないように手で押さえながら付属のコンビボックススパナでプロペラナットを時計回りにまわし外す。(逆ネジのため注意すること。)……………【3】
- (3) プロペラを外す。外れ難い場合はプラスチックハンマー等で軽く叩きながら外す。



◆ 付け方

- (1) プロペラをスペーサーの凸部分にはめ込む。
- (2) スペーサーの穴とギアボックスの穴を合わせて付属の六角レンチを差し込む。
(プロペラナット側から見て12時(又は4時)の位置)
- (3) 六角レンチが抜けないように手で押さえながら付属のコンビボックススパナでプロペラナットを反時計回りにまわし締め付ける。
(逆ネジのため注意すること。)……………【4】
- (4) 締め付け後、プロペラにガタが無いか確認すること。



故障診断



注意

・修理に使用する部品は必ず指定の純正部品を使用すること。

1. エンジンがかからない時

① 燃料関係

- ・燃料タンクに燃料がない、または少ない _____ 正しい混合比（25：1）の燃料を入れる。
（ガソリン1L：2サイクル専用オイル40cc）
- ・燃料タンクに古い（腐った）燃料が残っている _____
- ・燃料を吸い込み過ぎ、点火プラグが濡れている _____
 - 1. 点火プラグを外す
 - 2. リコイルスターターを5～6回引いて余剰燃料を出す
 - 3. 点火プラグを装着する
 - 4. スタートコントロールレバーを運転位置にしリコイルスターターをひく
- ・燃料パイプが折れ曲がっていたり外れている _____ 燃料が流れ易いようにする
- ・気化器の不調 _____ 販売店に相談する

② 電気系統

- ・点火プラグに火花が飛ばない _____ 「点火火花の点検」参照
- ・ストップスイッチのリード線がショートしている _____ 修理または交換する
- ・点火プラグが汚損している _____ 交換または掃除する
- ・点火プラグのギャップが広い _____ 0.6mmに修正する
- ・点火コイルの高圧コードと点火プラグの接続が弱い _____ 接続を直す
- ・点火コイルの不良 _____ 交換する

2. エンジンはスタートするがすぐ停止する。または停止しそうになる

① 燃料関係

- ・燃料タンク内に燃料が少ない _____ 正しい混合比（25：1）の燃料を入れる。
（ガソリン1L：2サイクル専用オイル40cc）
- ・燃料タンクに古い（腐った）燃料が残っている _____
- ・ガソリンのみを使用している _____ 販売店に相談する（焼き付きの可能性あり）
- ・スタートコントロールレバーが始動の位置になっている _____ スタートコントロールレバーを運転の位置にする
- ・燃料系統に空気が混入する _____ 燃料パイプや継手にヒビが入っていないか、または接続はしっかりしているかを調べる
- ・気化器の異常 _____ 販売店に相談する

② 電気系統（点火ミスをする）

- ・点火プラグの不良 _____ 新品と交換する
- ・点火コイルの不良 _____ 新品と交換する

③ その他

- ・エンジンのオーバーヒート
 - 燃料混合比不良 _____ 正しい混合比（25：1）の燃料を入れる
（ガソリン1L：2サイクル専用オイル40cc）
 - 点火プラグの番手違い _____ 指定品（NGK BPM6A）に交換する
 - シリンダー周りのゴミ詰り _____ 掃除する
- ・エアクリーナーの汚れ _____ 掃除する
- ・カーボン詰り（テールパイプ） _____ 掃除する
- ・圧縮不足（ピストン、ピストンリング、シリンダー） _____ 交換する

3. 異常振動が出た場合

- ① プロペラの取付け不良 _____ 正しく取付け直す
- ② ハンドル、ハンドル固定金具 _____ チェックして増し締めする
- ③ プロペラの曲がり、または損傷 _____ 修正、または新品と交換する
- ④ プロペラ、またはギヤケースに草やゴミが巻き付いている _____ 取り除く

切り取り線（保証書の記入欄へご記入後、コピーをとるかこの切り取り線より切り取って当社宛にFAXをお送りください。）

保証書

お買い上げ頂きました当該製品に万一不具合がおきました場合には、この保証書に基づき次の通り保証致します。この保証は日本国内で使用される場合に限り摘要となります。

また、本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。

製品名	(SP-1XS)	(SP-1S)	(SP-1L)
シリアル番号	No.		
ふりがな			
お名前	(姓) (名)		
ご住所	〒		
電話番号	() -		
ご購入日	年	月	日
ご購入店名 (所在地)			

【ユーザー登録制度について】

本書に必要事項を記入の上、弊社宛にFAXして頂くことで自動的に登録されます。ユーザー登録をされますと、万一保証書を紛失された場合でも保証期間内であれば保証を受けることができます。

FAX 0721-28-8039

保証規定

1.保証期間

保証期間は、原則としてお買い上げ日より1年間です。

2.保証内容

「次の要件を満たすものに限ります。」

- 保証期間内に、当該製品を構成する純正部品に、材料又は製造上の原因により発生した故障又は破損。
- 保証期間内に販売店又は弊社に届け出の上保証修理が認められたもの。
- 必要最低限の、保守・点検・整備を行なっているもの。

「内容に関して」

- この保証書に示す条件に従って、弊社の判断により無償にて部品の交換又は補修を行ないます。
- 保証修理により取り外した不良部品は、弊社の所有とし返却は致しません。

3.保証修理の受け方

「保証修理を受ける場合は下記の方法にて行なって下さい。」

- お買い上げの販売店にご連絡の上で依頼下さい。
その際、本書及び故障又は破損部品の提出が無い場合は保証修理の対象になりません。
- 弊社へご連絡頂いたあと、弊社宛にお送り下さい。
発送の際は元払いにてお願い致します。製品確認後、保証修理対象となる場合は送料を返金させて頂きます。
その際、本書及び故障又は破損部品の提出が無い場合は保証修理の対象になりません。

4.保証除外項目

保証期間内でも、次の項目に該当する時は保証修理の対象となりません。

「指定外品、天災に起因するもの」

- 弊社純正及び指定以外の部品又は材料をした為に発生したとみなされる故障又は破損。
- 天災、地震、公害、航行中又は海送、陸送中の事故、その他弊社の責に帰すことの出来ない事由により発生した故障又は破損。
- 一般的に機能上影響のない腐食、錆、オイルのしみ及び感覚的な現象。（音、振動等）
- 経時変化により発生したプラスチック部、塗装、金属面等の自然退色、ひび割れ及びこれらに類するもの。

「取扱方法等に起因するもの」

- 取扱方法、保守方法もしくは保管方法の誤り又は保管場所の不適切によって発生したとみなされる故障又は破損。
- 日常点検、点検整備、定期交換部品の交換等が実施されていない為に発生したとみなされる故障又は破損。
- 弊社が定める使用制限を超えて使用した為に発生したとみなされる故障又は破損。
- 弊社指定の販売店又は取扱店以外で行なわれた修理、整備、改造によって発生したとみなされる故障又は破損。
- 本来の目的以外に使用した場合。
- 競技（レース等）に使用した場合。

「その他」

- お買い上げ販売店の捺印及び記入欄に未記入、あるいは字句を書換えられた場合。
- レシタル、リースをされた場合。
（※）通常の使用状態において消耗するもの（ペンキ、オイルシール、プロペラ、プラグ等）は保証修理の対象になりません。

ジェイモ株式会社

〒584-0086 大阪府富田林市津々山台4丁目12番26号 TEL 0721-28-8088(代) FAX 0721-28-8039